

## 実践教育訓練学会 第3回建築設計競技の審査結果

2020年2月より、日本においても新型コロナウイルス感染が広がり、ほとんどの大学では入学式が遅れ、8月になっても対面の授業ができず、オンラインでの授業を行っている中での第3回建築設計競技開催となりました。そのため、例年に比べてエントリーや作品提出締め切りを1カ月延期しました。そのような状況下でも、日本全国の一般大学・大学院学生、職業能力開発関係施設で学ぶ学生・受講生、工業高校生徒より心のこもった47作品の応募が寄せられました。そして、8月初旬に9名の審査委員によりオンラインにより作品審査を行いました。

第3回建築設計競技は、「環境配慮住宅」をテーマにしました。一言で環境と言っても何に着目するかで、コンセプトや設計の内容が大きく異なります。エネルギーを消費しない住宅、エネルギーを逃がさない住宅、住まい方、外部と内部の環境の関わり合い、自然素材の利用方法、地域のコミュニティ、建物の長寿命化など、捉え方によってさまざまな提案ができます。今年の作品の1等の1作品、および2等の2作品は、地中での生活を提案しているのが特徴的です。特に1等の作品については、「環境配慮住宅」を多面的に捉え、それから多くの条件設定をして解を導き、解としての空間が心地よく地上と地下でリンクしているところが、審査員に高く評価されました。また、2等においても、魅力的な提案が審査員の目に留まり、受賞となりました。誠にありがとうございます。

入賞作品につきましては、2020実践教育研究発表会（オンライン）において作品プレゼンテーション及び表彰があります。また、上位17作品につきましては、実践教育ジャーナルにおいて作品を紹介します。入選しなかった優秀作品を紹介しますので、ジャーナルをご覧ください。

次年度も同じ時期に第4回建築設計競技を開催する予定です。これからの目標の一つにして頂ければ幸いです。

審査委員長 和田浩一

2020年8月10日

<p>1等 建築教育機関デザイン賞          大地と人を調和する建築          ～小さなユーマンエコロジー～          東北文化学園大学          神戸 眞智</p>	
<p>2等 株式会社地下産物賞          「あきてるってなんだ？」          ～自然を巻き込み住まう新建築～          環境共生型の建築～          建築能力開発総合大学校          高下 真真</p>	
<p>2等 メガソフト建築賞          Earth ～川風を纏う土壁の家～          九州建築能力開発大学校          北原 松貴、宮崎 立憲、藤          竹本 崇樹、大土屋 暁</p>	
<p>2等 総合賞特別賞          自然にまようということ。          建築能力開発総合大学校          高下 真真、真山 保貴</p>	
<p>2等 アイディアホーム賞          森の中の「森み家」          東北文化学園大学          神崎 可奈子</p>	
<p>2等 インフォマティクス賞          modern × 自然          東北建築能力開発大学校          佐藤 心みき、藤原 真樹</p>	